



極秘

日誌用

電

報

昭和一九七二

七三三〇〇發  
西三三〇〇著  
七二五〇〇  
三五五提出

通電先次長支總（漢口南京）旭部隊參謀長

旭參電第二五一號（電註一部未著再覽要求中）

七月十二日朝迄ノ狀況

一 衡陽方面

佐部隊ノ太田支隊ハ本月十二日朝局部的攻撃ヲ

開始シ正午頃迄ニ湘江左岸沿ヒノ鐵道本線（

東西ニ通ズル）ヲ除キ木橋ニ通ズル鐵道線路

（舊本線）間ノ三角地帯ヲ占領シ第一線ハ鐵

道本線北側ノ線ニ進出シ爾後ノ攻撃ヲ準備中

昨十一日和爾部隊ノ奪取セル前方據點（高嶺

東東北一一〇〇米三叉路東北方高地）ニ對シ

敵ハ數次ノ逆襲ヲ實施セルモ悉ク之ヲ撃滅セ

(3)

衡州方面ニ對スル船舶ニ依ル彈藥ノ補給ハ途中敵機ニ依ル損耗相當多ク之カ到着狀況ノ見通シ目下確立シ得ザル狀況ニ鑑ミ逐次現地ニ到着セル彈藥ノ數量勘案シ航空部隊ト緊密ナル協力ノ下敵ノ據點ヲ逐次計畫的ニ攻略スベキ企圖ヲ以テ攻撃ヲ準備中ナリ

(4)

白圩正面ノ敵ハ數日來白圩正面ニ陣地ヲ構築中ナリシガ本十二日朝來全正面ニ互リ攻撃シ來リ目下之ト戦闘中ナリ  
敵ノ一部ハ八塘(白圩東北八軒)附近ニ進出ス右ノ狀況ニ鑑ミ軍ハ白鶴鋪以東ニ侵入セル敵

撃スベク成部隊（歩兵四大隊基幹）ヲ新橋（衡陽西方ニハ軒）附近ヨリ白鶴鋪方向ニ前進セシメ敵ヲ索メテ撃滅スル如ク部署セリ

二 江西方面

(1) 廣部隊獨歩一大隊基幹ハ本月十二日一時衡州ニ到著シ成部隊足立大隊ト同地ノ警備ヲ交代セリ

(2) 昨十一日二十一時夾金家寺正面ノ敵第七九軍

主力ヲ我が陣地前道ク工事ニ對ホシテアリニ成部隊ハ柴部隊ヲシテ先ツ該敵ヲ撃滅スベク部署シアリ

(3) 新橋方向ニ前進中ノ成部隊ハ本朝五時三十分

兩路口附近ニ進出セリ

三 江東方面

(一) 山部隊

(1) 二神聯隊ハ十日夕泰元墟(茶陵西北北一二軒

附近ニ於テ松山部隊トノ連絡ヲ完了シ十一

日朝茶陵東北ニ向ヒ轉進中石陂台南方地區ニ

於テ茶陵方面ヨリ前進セル三〇〇ト下ラサル

敵ト遭遇シ之ヲ攻撃中

(2) 松山聯隊ハ十一日一部ヲ以テ平水(茶陵西方

一六軒)ヲ經テ茶陵西側隘路口ニ向ヒ前進セ

シメ主力ハ茶陵北方ノ敵ヲ赤水ニ壓迫スル如

ク攻撃中

(3) 安仁東方地區ノ敵ハ逐次兵力ヲ増加シ一部ハ

同地北方地區ニ進出シアリ

(4) 山部隊ハ十一日夜半安仁北方ヨリ安仁北方

ノ敵ノ背後ヲ攻撃中

(5)

十日朝來石後金附近ノ若林大隊ハ優勢ナル敵ト交戦シ同地南方高地彼我數回ノ爭奪戦ヲ演シアリシモ十一日朝ニ至リ敵ノ攻撃衰ヘアリ同隊ニ對シテハ杉本部隊ノ決死的行動ニ依リ仙岳山方向ヨリ彈藥ヲ補給シアリ醜陵南方陣地ニ對シテモ敵ハ執拗ナル攻撃ヲ續行シアリ

(電註以下一部未著)

アリシ第九九師及第十六二師ハ極部隊ノ南進ニ伴ヒ尾撃側撃ヲ企圖シツツ南下中ナルモノ如シ

(3) 醜陵奪回ヲ企圖セル敵第五八軍(第九九一六

ニ師ヲ屬スハ豫藥糧秣ノ缺乏ヲ來シアルモ  
尚相當果敢ニ反攻ヲ續行シアリ  
薛岳ハ日本軍ハ反轉後退シツツアリト稱シ部  
下ヲ督勵シアリ

(終)



極秘

傍受電報

七一六二三〇〇發 七一六二二〇〇受  
七月十六日十四時三十分以電報班受付

昭和一九、七、一七

旭部隊隊長

日 用

旭放送第四九號

七月十五日

各隊ノ狀況

(1) 衡州攻略部隊ハ本朝來重點ヲ衡州西南角方向ニ指向シ加部隊協力ノ下ニ頑強ナル抵抗ヲ非シ逐次外部障地攻略中、白鶴舖、飯島大隊ハ依然敵ノ攻撃ヲ阻止シアリ

(2) 山部隊ハ當面ノ敵ヲ勝渡橋舖附近ニ捕捉撃滅中

(3) 山部隊主力ハ頑強且執拗ナル敵ノ抵抗ヲ撃破シ敵第二〇軍主力ヲ南側ニ捕捉撃滅中、曹家洞ハ十四日正午頃ハ一語不明ニ補給

彈藥ヲ補充シタル後二十四日安仁ニ進出ノ豫定

(4) 極部隊ハ醴陵東方地區ニ進出シ醴陵附近ニ敵ノ側背ヲ求メテ攻

襲中ノ管

敵情

(1) 第一九四師（一語不明）主力ヲ以テ新橋ヲ經テ衡州附近ニ向ヒ  
前進中

(2) 第六二軍第一五一師モ逐次三塘（衡州西方一〇軒）方向ニ東北  
進シアルモノノ如シ

(3) 泉溪市（衡州東）來江東附近ニ一部ノ敵潛入シアリ  
(4) 第四四軍（八箇師）ハ茶陵東北地區附近ニ進出シ山部隊ヲ攻撃  
スベク企圖シアリ

(5) 第五八軍ノ一部（第九九師、第一六二師）ヲ以テ醴陵東北側ニ  
向ヒ攻撃シ又爾他ノ主力ハ醴陵、泗汾舖道附近ニ進出依然攻撃  
ヲ企圖シアリ

(6) 第七二軍（二箇師）ハ黃土嶺、泗汾舖附近ニ在リ

明日ノ天氣

長沙 晴 霧 〇―三米 晴後曇  
衡州 晴 霧 〇―二米 快晴後晴

（終）



極秘

傍受電報

一六二一六發  
一七〇〇五著  
七月十七日 五時四十分電報  
昭和一九・七・一七

日誌用

次長宛

旭放送第五〇號（七月十六日）

旭部隊參謀長

一各隊ノ狀況

(1) 堤部隊、太田部隊ハ衡州兩側鐵道線路北三〇〇米附近敵據點ヲ奪取シ本十六日衡州兩端及西南方三〇〇米ノ各該點ヲ攻撃戦果ヲ擴張中

(2) 岩部隊ハ歩砲協同ノ下ニ昨十五日力攻十五日夜一部敵隊ヲ續行セシモ巧ミニ纏成セル陣前火網特ニ短力火器ノ側射斜射ニ依リ未ダ戦況進歩スルニ至ラズ、敵瓦斯（噴性）ヲ使用シアリ

(3) 成部隊ハ十五日未明ヨリ西渡（衡州西西北方一五軒）南方三軒附近ニ於テ約一箇團ヲ下ラサル敵ト遭遇シ小柴部隊主力ハ

正午以來西前方ヨリ該敵ヲ包圍攻撃中、先遣部隊ハ十五日六塘附近ニ進出交戦セシ模様

(4) 鹿部隊ハ當面ノ蟻集セル敵第二十六軍主力其ノ他ヲ梧橋鋪南方地區ニ欺騙誘致シテ裏部ヲ包圍擊滅セリ爾後主力ヲ以テ

(補遺一語不明) 附近一部ヲ以テ依然膠田鋪附近ヲ確保

(5) 山部隊ハ茶陵附近ノ戰鬥ヲ終リ同地附近ニ在リテ安仁方向ニ向ヒ作戰準備中

(6) 極部隊ハ醴陵東方地區ニ於テ戰鬥中ノ態ナリ

(7) 健部隊ハ先遣隊ヲ以テ二十日頃師團主力ヲ以テ二十五日頃醴陵ニ到着ノ見込

### 二 敵情

(1) 第六二軍第一五七師第四七〇團ハ十五日六塘附近ニ於テ交戦中

(2) 第七九軍第九四師ハ西渡(衡州西西方一五軒)附近ニ於テ交戦中師部ハ靈官殿(舍蘭寺西西方一八軒)ニ在リ

○ 第七八軍ハ禮陵附近ニ於テ追撃砲彈一〇〇〇發ヲ發射ス

○ 〇 等補充セントシアリ軍部ハ依然登官附近ニ在リト

(4) 第四軍第一六一師ハ清水(茶陵北七村)附近ニ在リ

(5) 第二〇軍部八十四日馬伏江ニ第一三三師八十八折南端(茶陵

西四村)馬伏江附近ニアリタルモノノ如シ

(6) 第三七軍九五師ハ平田墟(安仁西南方一八村)ニアルモノ

ノ如シ

※ 船區部隊名ノ追加又ハ訂正ス

光第三七師團堤第六八師團

武獨立賊隊第六旅團

四 明日ノ天氣

長沙南ヨリノ風 〇―三米 綠

何州南ヨリノ風 〇―二米 曇 時々小雨

(終)



傍受電報

次 長 宛

旭放送第五〇號追加

旭 部 隊 參 謀 長

昭和一九、七、一七

七月十七日十二時二十五分 (電報班受付)

(1) 敵第二〇軍主力ハ依然洪山廟西南方高地茶陵西南側高地及寶石

嶺茶陵東南四村ノ對岸ニアリテ掩蔽ヲ有スル既設陣地ニ據リ頑

強ニ抵抗シアリ。第一線陣地後方ハ一語不明ノ東進茶陵奪回ヲ企

圖スル後部部隊アリ

(2) 二七集團軍長ハ十六日馬伏江ニ前進且山部隊ハ左側背ヲ包圍ノ

為第四四連ヲ茶陵東南地區ニ前進セシメンシアリ

(3) 安仁附近ノ敵ハ第六〇師ニシテ西正面第七九團東正面第一七

八團界首坪陣及第一八〇團安仁東北方地區ニハ敵アリ。茶陵ニ

増援スルモノノ如シ

(4) 湘潭西四村附近ニ使衣ヲ纏セル約二千ノ敵アリ湘潭奪回ヲ企圖

シテルモノヲ知シ

(5) 軍ハ好機ヲ捉ヘテ阪東九城區軍ヲ以滅スル爲斷部隊ヲ有力ナ  
一部ヲ安仁、次ヲ奈波方向ニ突進セシメ又舊部隊ヲ進カセ隨從  
東南側地區ニ進出セシメ各山及斷部隊ト實際會戰ノ後ヲ捕提ス  
ル如ク處置ス

一〇〇

1976

366

機密

日誌用

報

旭部元 次長、次司

旭放送第五一號

七月十七日

旭部 隊 務 課 長

七月十八日六時（電報班受付）

一七二二二〇號  
一八〇〇〇〇著  
七月十八日六時（電報班受付）

昭和一九、七、一八

一 軍の好機ヲ捉ヘテ敵第九戦區軍ヲ殲滅スル為謀部隊ノ有力ナル一  
部ヲ安仁次イテ茶陵方向ニ進出セシメ又健部隊ヲ速カニ醴陵東南  
側地區ニ進出セシメ各山及隘部隊ト策應當面ノ以テ浦掘スル如ク  
處置ス、爾後樞部隊ハ主力ヲ以テ茶陵東北方地區ヲ追撃ス  
ニ各部隊ノ状況

(1) 衡州攻略部隊ハ逐次攻進進捗シツツアリ、其ノ第一線ヲ以テ十七  
日早朝衡州城南ニ於テハ概ネ東面ノ線ニ西方ニ於テハ城外約六  
七〇〇ノ線及西北側小西門附近ニ進出シアリ  
(2) 山部隊ハ松浦部隊ヲ以テ昨十六日黎明ヨリ相運搬シテ十八日東面

ノ線ヨリ攻撃ヲ開始夕刻頭堡（茶陵西南四軒）北方ヨリ小軍ノ線ニ進出引續キ攻撃中、第一線ハ頭堡、小軍ノ線ニ進出早朝松ノ一部ヲ以テ公婆山、頭堡、小軍附近ヲ占領、主力ハ茶陵西側ニ集結ス、神ハ茶陵東側虎形山、潯山北側高埠ヲ占領、主力ハ茶陵東側ニ集結遊撃態勢ヲ整ヘ爾後佐部隊ヲ（一部不明）安仁附近ニ在リ橋部隊ハ十五日午後楊梅峯（安仁西西北四軒）附近ニ兵力ヲ増強シ水樂江渡河點ニ進出シ來レル敵ヲ撃退セリ  
官部隊（輜重ヲ含ム）ハ十六日十七時賀家橋（泗汾鎮西南二二軒）ヲ通過主力ニ追及中

戰情

(1) 戰區副長官李玉堂ハ第七九軍、第六二軍ヲ指揮シ衡州守備軍ニ増援セントシアリ、増援部隊ハ當面ノ我が間隙ヲ一部ヲ以テ挺進セシムルノ儀アリ

第二七集國軍及八十六日滿伏兵ニ前且山部隊ノ湖背ヲ包圍ス

爲將四四軍ヲ茶陵東南地塊ニ圍メシメントシアリ

(C) 藤岳八十五日第九九師及第六軍團ヲ七月二丁日迄ニ尚圍メ茶陵東

嶺北ニ七廿一ニ發音茶陵攻隊ヲ動力メシムルモノノ期ク第一三四

師ヲ近ク進花ニ招致ス

山部隊正面ニハ同師ノ一師團現出シアリ

(2) 湘潭西二村ノ西岸附近ニ約七〇〇ノ敵アリ湘潭隊同ヲ企圖シア

明日ノ天氣

長沙 晴時ノ風〇一四米 曇時々小雨

衡州 晴時ノ風〇一三米 曇時々小雨

1881





秘報

第三課

目録用

電報

七一六二五五發  
七一六一五〇著  
七一六一六一〇受付  
七一八一〇四提出

昭和一九、七、一八

旭部隊參謀長

通電先 次長、支總（漢口、南京）

旭參電第三四號（電報）

七月十七日配布未著欠ノ分  
翻譯不能再電要求中解讀セシ爲遲延ス

附近ノ敵第七九軍ヲ棄メテ毀滅中

②第一九四師ハ新橋、英陂（新橋北大軒）附近ヲ經テ衡州ニ向

ト前進中ナリ

（終）

第... (Circular stamp)

# 極秘 作戰緊急

電報

七一七 一九〇〇發

昭和一九、七、一八  
二一四〇番  
二八二〇番  
提出

旭 部 隊 參 謀 長

通電宛 次長、支總（漢口、南京）波

旭參謀第三六九號（電註）一部未着ナルヲ認布ス

七月十七日晴迄ニ於ケル狀況

敵第九師團軍ハ衡州確保ノ爲急カシ以テ反攻ニ轉ジ彼我ノ決  
 戰方ニ固カラントシアリテ敵軍ノ重點ハ茶陵及醴陵方面ナ  
 ルモノノ如ク軍ガ態ニ交戦セル敵兵力ハ約四〇箇師ニシテ其  
 ノ戦力ヲ概シ半減セシメタルモノト判断セラル  
 軍ハ良ニ好機ヲ捉ヘ醴陵、茶陵及安仁附近ニ於ケル敵第九師  
 團軍ノ主力ヲ捕捉殲滅スベク大要索ノ如ク部署セリ  
 他部隊ヲシテ遠方ニ離散西側地區ニ進出極部隊ト協力シテ醴  
 陵附近ノ敵（第五八第七二軍約七箇師）ヲ捕捉殲滅セシム  
 屬部隊ノ有力ナル一部（歩兵約三六隊海陸一ヲシテ先ツ安仁

東部地區三河田口部隊ノ一部ト筑原シ韶州附近ノ敵（第三七  
真三師團）ヲ掃蕩殲滅シテヲ茶陵方向ニ突進シ山郷隊主力ト  
筑原シテ茶陵周遊ノ敵ヲ

（電註、以下一部省略）

兩隊向東北方約臨○○米因又降附近ノ據點ヲ奪取セリ

(3) 廖國輔隊近ニ在ル廖部隊ノ一部ヲ以テ衡州對岸飛行場及鐵道  
要點ヲ確保セシメ固地ヲ占領ス、佐部隊ノ一部ハ主力ニ合セ  
シム

三 江西方面

(1) 廖部隊ハ六師附近ニ於テ第一五七師主力ヲ攻撃中

(2) 微島大隊ハ廖部隊ノ進出ニ伴ヒ岩部隊主力ニ復歸ス

(3) 蔣介石ハ第七九、第六二兩軍ヲシテ日本軍ニ介意スルコトナ  
ク衡州ニ突進解回スベク命ジ督勵シアリ

四 江蘇方面

(1) 山部隊

- (1) 連日ハ昨十六日自總隊以來茶陵西麓高地既設陣内ニ據リ頑強ニ  
 抵抗スル敵ヲ激進中ニ射撃隊兩連隊ニテ茶陵西麓ニ移行シ反  
 撃スル敵ヲ自隊以捕ス、茶陵東方及北方ニモ一部ノ敵進出反  
 撃ヲ企圖シアリ
- 自總隊既設陣内一部ハ激進中ニ射撃隊ノ爲陣下ノ北アリ
- (2) 自本朝軍ハ隨時反撃スル敵ヲ逐滅シツツアリ
- 當時射撃隊及自本朝軍ハ茶陵西麓ヲテ陣内ニシテ十六日機先ヲ  
 領シ自隊自一隊自隊自隊ニ八村ニニ調結セリ
- (3) 自總隊主力ハ自茶陵西麓東方地區ニ於テ逐進八軍主力ヲ激進中

至正親皇

(終)

(第二編)

# 秘

昭和一九二七年

## 日誌用

軍報

次長宛

旭部隊參謀長

第一〇〇〇〇號  
第一八〇〇〇號提出

旭部隊第三一三號(電註)一部未著再電要求中ナルモ取敢テ配布ス

未著(其ノ一、二)

山及馬部隊ニ依リ逐次擊滅セラレ第六二、七九兩軍ハ目下成部隊

之ガ擊滅ヲ企圖スアリ

二 衡州方面

衡州攻略部隊ハ豫定ノ如ク明十五日正午頃衡州城ニ對スル本攻勢

ヲ開始

(電註) 以下一部未著(其ノ四、五、六)

江東方面

(1) 鹿部隊ノ大坪、海福兩聯隊及山砲聯隊ハ豫定ノ如ク本十四日黎明ヨリ敗殘第二六軍ニ對シ攻撃ヲ開始セリ。伊藤聯隊ノ主力及工兵聯隊ハ衡州ニ來陽道ヲ補修中ニシテ又一部ヲ以テ來陽對岸ニ飛行場設定中

(2) 山部隊

(1) 主力ハ依然茶陵附近ニテ敵第二〇軍主力ヲ包圍擊滅中ニシテ茶陵南岸及其ノ附近ニハ尙有カナル敵アリテ該地周邊ノ陣地ヲ據リ抵抗シアリテ山部隊主力ノ安仁附近進出ハ

（電註）以下未詳

第二號

日誌用



電報

次長宛

旭參電第三六九號(電陸、七月十八日配布欠ノ分)

第一〇〇軍、第四四軍、六箇師)ヲ扶護セシム

衡州方面

(1) 無補隊ノ昨十六日夕、發隊ノ爆撃ニ肩接セテ

昭和一九、七、一八

一六二七四〇發  
一八〇七〇〇著  
一八一〇七四〇受付  
一七一〇〇提出

旭 部 隊 參 隊 長

376

8801

1987



# 至急秘親展

（昭和十一年八月二十日）  
 皇太子殿下御即位の御慶賀の御状  
 御即位の御慶賀の御状

御即位の御状

第一三三章 第四四章 六四回 又光緒十九年

御即位の御慶賀の御状 六月十八日御即位の御状

大 衆 衆

献 播 類 衆 類 衆

御 衆

第一六〇回 御即位の御状  
 第一六〇回 御即位の御状  
 第一六〇回 御即位の御状

御即位の御状 第一八

1981

1987

1988

第一編  
極秘

日誌用電

報

昭和一九、七、一九、

七、二〇、〇〇發 七、二八、〇〇九、〇〇〇 提出

旭部隊參謀長

通電先次長、支總（漢口、南京）

旭參電第三五七號

七月十六日朝迄ニ於ケル狀況

一、衡陽方面

衡陽攻略部隊ハ依然力攻中ニシテ巧妙ニ編成セル

敵火網就中短刀火器ニ制セラレ晝間ニ於ケル

戰果ノ擴張意ノ如クナラズ

各部隊ノ進出ハ目下ノ所

（一）堤（佐ヲ改稱）部隊ハ右、左各第一線ト共ニ湘桂

北側敵最前線據點ヲ奪取ス

(2) 岩部隊ハ黒瀬聯隊ヲ以テ兩路口東側據點ヲ

和爾聯隊ヲ以テ軍公路東側ノ敵最前線據點

ヲ奪取シ志摩聯隊ノ右第一線ハ軍公路ヨリ

約一五〇米附近ニ左第一線ハ公安局西門ノ手前

約三五〇米附近ニ進出ス

三 江西方面

(1) 鹿部隊ハ敵ノ第二大軍主力ヲ毀手滅セリ爾

後主力ヲ以テ來陽附近ヲ一部ヲ以テ(地名不明)附

近ノ要線ヲ確保シ次期作戰ヲ準備

(2) 成部隊主力ハ昨十五日夫所以來西渡(衡州西北

十五軒)附近ニ於テ第一九四師主力ヲ包圍撃滅

中

戶田部隊ハ昨十五日六鳳寨附近ニ於テ第一五七

(3) 白鶴鋪正面ノ敵第一五二師ノ攻撃ハ逐次低調ト  
ナレリ  
師ノ一部ヲ撃破シ白鶴鋪ニ向ヒ前進中ナリ

三 江東方面

(1) 山部隊ハ武陵南方掩蓋ヲ有スル堅固ナル陣地  
ヲ南シテ攻撃中

(2) 極部隊主力ハ武陵東方地區ニ於テ第五八軍ノ  
主力ノ背後ヲ攻撃中

(終)

第三編  
陸軍

傍受電報

昭和一九、七、二〇

誌用

旭 部 隊 參 謀 長

旭放送第五二號追加七月十八日

一八二二三〇發  
二〇二〇二〇發  
七月二十日十三時五十分(電報班受付)

(1) 衡州攻略部隊志願支隊ハ十七日夕小西門西四〇〇(柳頰街)陣地ヲ

奪取シ黒(一)部不明(一)部隊ハ十七日午後陸路口東側不正回又路

ヲ又(一)路?(一)ヤ(一)路?(一)更々南五〇〇米ノ敵據點ヲ占領シ

岳屏ニ對シ攻撃準備中

本十八日増援部隊ノ發進ヲシ協力ノ下ニ不正回又路北方陣地ヲ

攻撃中

(2) 衡州攻略部隊ハ十七日午後三時五十分(電報班受付)

ハシラハ谷川橋渡之南、新シ蘭岳ハ第六十二軍ノ進攻ヲ督  
視シアリ

(9) 現在本隊長ノ遺教セル六箇大隊ヲ第一九四師長ニ指揮セシメ十

七日一時新橋東方地區ヨリ行動ヲ開始シ「トウセント」(衡州

西回北方)六杆一買<sup>コリト</sup>買渡(西回方三、五 杆)鴨嘴山(西回

附軍ニ向テ攻撃セシム、第九八師ノ一箇團ヲ以テ南渡(新橋西

一〇)附軍ノ陣ヲ攻撃後新橋東南地區第一九四師ト協力シテ我

ヲ攻撃スルモノヲ知シ、第九八師ノ殘餘ハ濱城橋、金蘭寺附近

ニ行動ス、軍部ハ共頭江ニ黃城橋西西南一五杆ニ在リ

泗水塔(自稱備北一六杆)ニ前進スルモノヲ知シ

明日ノ天氣

長沙 晴 晴リノ風 ○一四米 曇 一級小雨

衡州 晴 晴リノ風 ○一四米 曇 一級小雨

(終)

# 極秘作戦緊急

日誌(用)

通電先 次長、支線(漢口、南京)  
旭發電第401號

昭和一九三七、二〇

## 一 敵情

- (1) 行陽攻略部隊ハ逐次敵據點ヲ攻略シ攻圍ヲ壓縮中ナルヲ敵ノ抵抗尙依然頑固ニシテ敵第七九軍及第六二軍ハ解圍攻撃ヲ企圖シテ
- (2) 湘南方面ニ於テ六戰區軍ハ逐次兵力ヲ増加シ邊境騷動シツツアリテ湘北、永豐等重要據點ノ奪回ヲ企圖シアルモノ如シ
- 第一〇〇軍ノ第五八師、第一九師ハ湘北、永豐間西側地區、第六三師ハ廣市一寧鄉西四方四〇村附近、第七三軍ノ第七七師ハ沅江、益陽間ノ地區、第一五師ハ潭市(湘鄉西二〇)村一寧鄉附近ニ在リ
- (8) 第九九軍(實力ハ一師團)ハ安化附近ニ位置シ寶慶附近ニハ第四

軍及海軍... (4) 洞... 増水位ノ増加ニ伴ヒ湘陰地方地區一帯ノ陸上交通ハ近時著シク困難トナレリ

二軍ハ衛隊... 衛隊シ初後第六師團... 對スル作戦ヲ準備スベク大要左ノ如ク部署セリ

(1) 廣部... 衡州ノ間ニ侵入シ敵ヲ破滅スルト共ニ假島大隊ト交代シ自衛隊ヲ確保ス、尙一部ヲ以テ岩部... (2) 廣部... 衡州對岸地區塙部隊ノ一部ト交代セシム

(8) 關部隊

(1) 岩切支隊... 先ツ寧郷附近、次テ益陽附近ニ前進敵第七七師ヲ拮据... 益陽附近ニ集結シ横市(益陽西門外)方向ニ對シ爾後ノ作戦ヲ準備セシム

軍歴



(四) 主力ハ長沙附近ニ於テ湘江ヲ渡河シ横市方面ニ對シ爾後ノ作  
ヲ準備セシム

(4) 蘇部隊ハ湘潭附近ニ於テ湘江ヲ渡河シ速カニ主力ヲ以テ湘鄉附  
近ニ進出該地守備ノ廣部隊ノ一部ト交代シ激水(湘鄉西四〇程)  
方向ニ對シ攻勢ヲ準備セシム

(5) 湘江輸送ノ直接掩護ヲ左ノ如ク交代擔任セシム

(1) 易家灣(合マズ)下流開部隊

(四) 易家灣渡口(合マズ)ノ開森部隊。六合縣(合ム)上流廣部隊

各部隊ノ狀況

(1) 衡陽方面

(1) 衡陽攻略部隊ハ主トシテ夜間及霧夜部隊ノ襲撃成果ヲ利用シ銳  
意觀察ノ擴張ニ努力中ニシテ岳陽部隊ハ岳陽西南約四〇〇米  
西又略高地及岳陽府方約五〇〇米高地。和爾部隊ハ岳陽口北方  
約二五〇米高地及同北方約六〇〇米高地ヲ完全ニ奪取ス  
又志願部隊ハ本十八日岳陽岳陽街(小回門西方部隊)陣地突入

ニ成初シ小野門河方約四〇〇米ノ以ニ進出ス

(甲) 敵ハ我ガ突撃ニ對シテ防禦線直後ヨリ約一時間ニ互リ手榴弾ヲ連続投擲スル等極メテ頑強ニ抵抗シアリ

(乙) 江西方面

(1) 成部隊ハ一部ヲ新野附近ニ配置シ主力ハ敵ヲ襲撃シツツ白鶴舖ニ向ヒ急進中ナリ

(2) 白鶴舖附近ニ於テ依然堅固ヲ交ヘツツアリ

(3) 江東方面

(4) 應部隊ノ根本(一醫不勇)部隊(歩兵三大隊山砲二中队陸隊)ハ十七日夕來江江河仁渡除トナリ赤仁東甯地區ニ向ヒ急進中ニ

シテ小水館方面地區ニハ尙一部ノ敵遺屍北上シ來リ竊動シツツアリ

(5) 山及極部隊方面ノ状況如何カチラス

秘親展

内 健部隊石川支隊一歩兵二大隊基幹一八十七日十九時瀏陽河波河點  
出發白田舖一長沙南南東一三杆一石嘴頭一株林頭東北二杆一  
瀏陽道一沿ノ地區ヲ離脱ニ向ヒ急進中本十八日朝其ノ先頭ハ南山  
舖一長沙南南東二五杆一附近ニ木佐木支隊一歩兵三大隊基幹一ハ  
青山市一長沙北北東三五杆一永安市一長沙京三〇杆一鐵頭市  
一南二三杆一道及其ノ四側地區ヲ板杉舖一離脱西北一〇杆一ニ向

ヒ前進中

其ノ他ノ主力ハ十八日朝長沙附近ヲ出發シ石川支隊ノ進路ヲ前進ス

(二) 第五八軍敗殘隊員人員左ノ如シ

新編第一一團將校以下約三七〇名、新編第一〇師同約一一一一名  
第一八三師同約五一〇名

以後方ノ状況

(1) 瀏陽飛行場ハ十六日朝一〇〇〇米長サ一六〇〇米ヲ完成シ其ニ飛

行機掩護機材等

②長沙、易俗河間、自動電線道ハ十七日開通シ、自動電線部隊ハ同夜ヨリ復

河ヲ開始セリ

③舟橋、民衆ハ湘江渡水シ、龍巖橋（衡山西南一五浬）ヨリ上流溯航  
不能トナリ、軍需品ハ同地ヨリ馱馬輸送ヲ實施中

新編 湘省 親農

1999

387

極秘



傍受電報

日誌用

次長宛

旭放送第五三號追加七月十九日

旭部隊 七月二十一日八時(電報班交付)

昭和一九三七年

電報班交付

一各部隊ノ狀況

(1) 衡州政府部隊ハ「シマ」支隊ヲ抽出衡州西南方地區ニ現出セル敵増

援軍ヲ派滅シテ堤部隊主力ニ合一兵力部署ノ重點ヲ西南側ニ徹底

シテ再攻スルニ決シ準備中、十八日朝堤部隊ハ岳屏南方四交點ノ

陣地ヲ、一シマ一支隊ハ小西門西北方三〇〇米ノ市街ノ突角ヲ占

領、射部隊ハ衡州西北端西北側ニ落ノ一角ヲ占領ス

(2) 成部隊ハ先遣部隊ヲ以テ自鶴窩嶺高犬隊ト連絡ヲ完了シ主力ハ六

塘附近ニ於テ取圍中ニ在リ

(3) 既部隊ハ海軍部隊ハ十八日夕來江ヲ渡河安仁ニ前進中、伊藤部隊

ハ先遣中隊ヲ以テ衡州對岸ニ主力ヲ以テ藤田師ニ進出前進中

(4) 山部隊ハ主力ヲ以テ茶陵附近ニ在ル。原部隊ノ一部ト、贛縣ニ安仁附近ノ敵ヲ捕獲。贛縣シタル後、安仁占領部隊カテ、茶陵方面ニ突進セシメ、原部隊ノ一部ト、贛縣ニ茶陵附近ノ敵ヲ捕獲。敵シ、軍補充ノ關係上、攻勢發起ハ二十二日頃ノ事。

(5) 原部隊ハ本十九日朝其ノ第一線ヲ茶陵附近八軒渡江ノ線ニ進出シ、敵退散中。

(6) 徳部隊ハ先遣隊ノ先頭ヲ以テ本十九日七時二十分頃大石橋（贛陵西北方一〇軒）ニ進出シ、前進中。

第五八軍十八日ニ於ケル位置次ノ如シ（A情報）

(1) 軍部長源（萍鄉南二軒）

(2) 新編一〇師師部（萍鄉西南方一〇軒）

(3) 新編一一師師部（塘西西南九軒）、第一八三師（塘城）

旭放送第五三號中(2)ノ「新編東方地區」ヲ「黃海ケツ」ニ「杉橋北一〇軒」附近ト訂正ス

後方ノ狀況

(1) 易俗河、長沙間ノ自動車道開通セリ

新編第一八三師

極秘

電報

次長宛

照依

照依頼電第八二號

瀬島参謀へ? 小幡参謀ヨリ

猛内地向ケ後送重長書類六月三日潜水艦ニ依リ「バラオ」ニ到着セ  
ルモ萬全輸送ノ途ナク今日ニ至ル

速カニ海軍水上機(當地ニ繋留シアリ) 或ハ艦艇ノ歸航(止ムヲ  
得ザレバ「バラオ」一馬尼刺間ハ水艇ニ依ル)等ニ依リ内地運送方

促進セラレ度

「バラオ」ノ緊迫セル狀況ニ鑑ミ特ニ至急手配方相煩ハシ

(終)

昭和一九、六、三〇  
六二八一六三〇機  
六三〇一〇〇〇提出  
照部隊参謀長

2003

(2) 湖澤飛行場幅一〇〇米、長さ一六〇〇米完成セリ

明日ノ天気

長沙

南ヨリノ風〇一三米快晴後晴

衡州

南ヨリノ風〇一三米快晴後晴





傍受電報

七月二十一日八時電報班受付

昭和一九. 七. 二一

旭放送第五四號(七月二十日)

旭 參 謀 長

各隊ノ狀況

(1) 衡州攻略部隊(一?) 志摩支隊「ドウ」江橋(衡州西一八軒)附近ニ進出シ敵増援軍ヲ攻感中

(此ノ間一進未略)

(2) 尾部隊馬王拗(來陽南兩京八軒)附近ノ敵ヲ擊碎シ敵ヲ追尾

シテ二十日七時頃關王廟(馬王拗東南八軒)ヲ兩方ニ追感中

伊藤部隊衡州飛行場ニ到着セリ

山部隊主力若原附近迄退却シテ敵ト近ク對峙シアリ

神部隊若原東側、松部隊若原西側、宮部隊二十日朝茶陵ニ到着シアル筈ナリ

着シアル筈ナリ

(4) 似部隊等一隊ヲ以テ津郷西方淡江附近ノ敵ヲ攻撃中

(此ノ間一遺未著)

海軍

督戦トニ因ル且増援軍來發ヲ願ミ尙頑強ニ抵抗シアリ増援軍

又嚴重ナル督戦ヲ受ケ銳意尙州城ヘノ近接ヲ企圖シアリ

第六二軍ノ一部ハ雨母山(忻州西南方一〇軒)附近ニ進出セ

シモ我方軍ノ攻勢ヲ受ケ潰亂シ戦意戦力低シ又一部間隙ヨリ

侵入セシメ守備軍ト連絡ニ努メツツアリ

(2) 茶陵方面敵狀(一?) 我が第一線ト近ク對峙シアリ

(8) 「?」方面約一箇團ノ敵十七日夕馬王劫(「?」一南一

杆)

(以下一通未著)

第九九師及第一六二師ハ茶陵(一語不明一語脱)ニ協力ノ爲

津郷(地名不明)ヲ經テ高隴附近ニ移動ヲ企圖シアルモ離

脱困難ニテ十八日夕ニハ未ダ津郷西方地

津郷西方地

如ク尙爾師ハ彈藥地圖等蓮花ニ於テ受領スルモノノ如シ  
十八日夕ノ懸勢

第五八軍部長「タム」(萍郷南二軒)、第一八三師萍郷、新

編第一一師劉公廟(萍郷西西南九軒)、新編第一〇師麻山、

(萍郷西南八軒)第九九師湖東東側高地、第一六二師嶺巖洞

(萍郷西三軒)朱庄(西四軒)

十九日正午(一語不明)加部隊自動貨車(約一〇〇輛)ハ

撈刀河ヲ通過雨進セリ

### 明日ノ天氣

長沙地方、雨霽ノ風〇―三米快晴後晴

衡州地方、雨霽ノ風〇―二米快晴後晴

橫龍洞(萍郷西三軒)朱庄(西四軒)(一?)十九日正午

(一?)加部隊自動貨車(約一〇〇輛)ハ撈刀河ヲ通過

(續ナルモ以下未著)



電報

先次長威輝

召集參電第九六六號

陸軍部陸參謀長

昭和一九六〇

七〇六二〇發  
九八一〇〇著  
六九二五三〇接出

一日「トアール」二十二時二十五分發二南飛行場ニ照明彈、燒

夷彈長彈、「ガソリン」若干燬失

「カンパ」二十二時一二十分時間撤回西北ヨリ南へ爆音

二日「ククラ」九時五分「B-17」型一機、高層空域〇〇南ヨ

リ、飛行場ニ投彈一機、落下傘付五〇名降機(管)

以、果

「ダナール」(「カイ」島群島南端)

十五時十二分「P-1三八」三大編隊南へ

(總)

2007

卷一

極秘

作戰緊急

電報

昭和一九四〇年五月廿七日  
旭部隊參謀長

用

通電先次長 總參謀長(漢口南京)

旭參電第四二七號

七月十九日朝迄ニ於ケル狀況

一、衡州方面

(イ) 衡州攻略部隊ハ力攻中ニシテ岩部隊正面ノ敵ノ抗戦力ハ  
逐次減退ノ徴アリ

(ロ) 太田支隊左第一線部隊ハ昨十八日夜岳屏南側十字  
路南側閉鎖曲線高地ヲ奪取セリ

(ハ) 和爾部隊ハ昨十八日夜大西門西西南五〇米三叉路  
西側據點ノ一角ヲ突入セリ

(一) 志摩支隊左第一線部隊ハ小西門<sup>ハ</sup>側<sup>ニ</sup>三〇〇米ハ線ニ進出

セリ

(二) 針部隊ノ一部ハ昨十八日夜衡州西北端部落西北角ニ

突入セリ

(三) 第一〇軍長ハ迴雁寺(衡州南側)附近ニ在ルモノ如シ

又一般ニ衡州南側堤部隊正面ニ對シ敵ノ逆襲頻繁

且猛烈ニテ堤部隊ハ其ノ都度敵ニ大打撃ヲ與ヘテ

擊退シアリ

(四) 側背掩護ノ爲ニ塘附近ヲ占領シアリシ澤多部隊ハ

歩兵四中队ハ昨十八日夕以來兩母山(寧化南四料)

附近ヨリ東進シ衡州ノ解圍<sup>ヲ</sup>企圖ス第一五一

師ノ部ヲ攻撃中

尚第一五一師主力ハ黃沙嶺(衡州南ニ新)方向ニ進出ス

バック企圖シアルモノノ如シ

(3) 岩部隊ハ爾後志摩支隊主力ノ西南方ニ進出シ来レ  
ル敵ヲ撃滅シツ衡州西南地區ニ轉用中ニシテ該支  
隊ハ既ニ行動ヲ開始セリ

江西方面

(1) 成部隊

(1) 田部隊ハ昨十八日白鶴鋪ニ進出シ飯島大隊  
連絡ヲ完了セリ 今朝依然輕戦ヲ交ヘアリ

(2) 金蘭寺ヲ確保ノ黒須大隊ハ去ル十六日朝來敵第  
九八師主力ノ攻撃ヲ受ケ激戦中

(2) 開部隊

(1) 岩切支隊ハ一昨十七日樟樹港(衡州南一五料)附  
近ニ進出セリ

(四) 部隊主力ハ七月十八日先頭梯團ヲ以テ栗橋(新橋南  
ニ五料)附近ニ進出セリ。先遣セリ部ハ昨十八日長沙  
ニ到着明二十日正午岳麓山附近確保ノ任ヲ継承

ス

(三) 森部隊ハ概ネ青山沖附近ニ進出シアル筈  
ニ江東方面

(一) 極部隊ハ本十九日朝趙家堰西方附近及其南方深  
江ノ線ニ進出シ第九九師及第六二師ヲ萍郷方向ニ

追撃中

戦闘司令新ハ快活岑(湘東西方約七料)附近ニ在リ  
(二) 夏部隊ハ本日朝先遣セリ石川支隊先頭ヲ以テ醴  
陵西北一八料附近ヲ前進中

(三) 山部隊



(イ) 主力ハ依然茶陵附近ニ於テ敵ト近ク相對シ敵ノ  
動向偵知ニ努メツツ爾後ノ行動準備中

(ロ) 宮崎聯隊ハ本十九日十一時頃柘桑渡(彼縣東北五

料)ニ到着セリ

(ハ) 安仁方面ハ大ナル變化ナシ

(ニ) 師團ハ爾後鹿部隊ノ一部ト策應シ二十日頃安仁附

近ノ敵ヲ捕捉撃滅シタル後橋部隊ノ一部ヲ以テ安仁

ヲ確保セシメ、同部隊ノ主力ヲ茶陵方向ニ突進セシメ

師團主力ハ適時攻勢ヲ開始、橋部隊主力及鹿部

隊ノ一部ト策應シ茶陵附近ノ敵ヲ捕捉撃滅スベ

ク企圖シアリ

師團主力ノ攻勢發起ハ彈藥補充關係上二十二

日頃トナル豫定

(4) 鹿部隊  
海福部隊ハ概ネ安仁西南ニ逼屬シアル筈

3

終

303

399

2013